

# 第5章 Lesson 4

## 1. 準備と起動




### (1) キーボードの接続

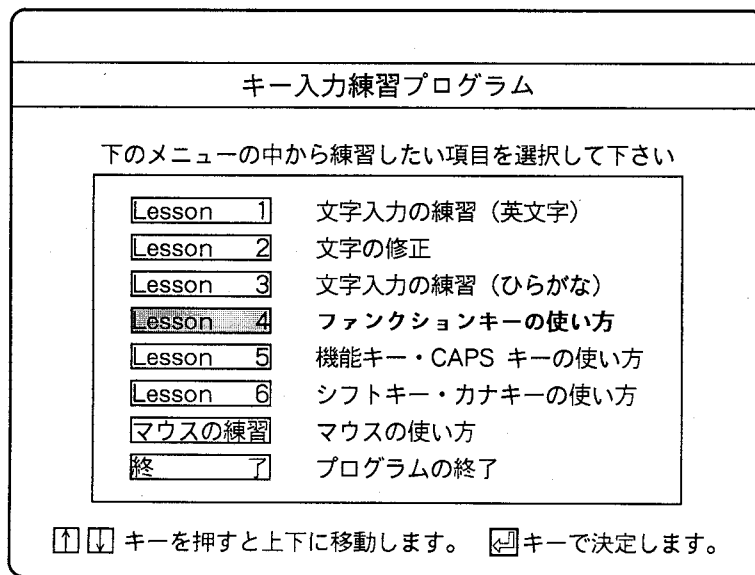
「Lesson 4」では簡易型キーボード#2をセットします。

### (2) キー入力練習ソフトの起動

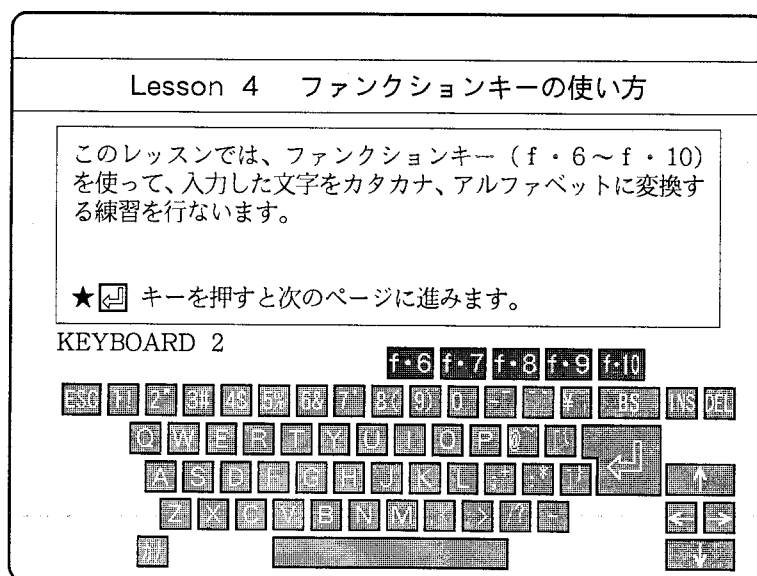
起動方法に従ってキー入力練習ソフトを起動します。

### (3) メニューの選択

メニュー選択画面より   キーで「Lesson 4」を選択し、 キーを押します。





「Lesson 4」の開始画面は、次のようになります。



## 2. 練習

「Lesson 4」では、ファンクションキーの **f・6** **f・7** **f・8** **f・9** **f・10** を使って、入力した文字をカタカナやアルファベットに変換したり半角にしたりする練習をします。

練習方法は、まず各ファンクションキーの役割について画面の説明文などで見て学習し、次に実際に文字の変換を練習します。

次の画面に進むときは、「 キーを押すと次のページに進みます」という表示を確認して  キーを押してください。

「Lesson 4」で練習する主な内容は次のとおりです。

### (1) カタカナに変換

文字をカタカナに変換する場合は、**f・7** キーを押します。

**f・7** キーを押すと文字がどう変換されるか、実際に表示されますので画面の例文をよく見ていて下さい。

### (2) アルファベットに変換

文字をアルファベットに変換する場合は、**f・9** キーを押します。

**f・9** キーを押すと文字がどう変換されるか、実際に表示されますので画面の例文をよく見ていて下さい。

### (3) ひらがなに変換

カタカナやアルファベットに変換された文字をひらがなに戻す場合は、**f・6** キーを押します。

**f・6** キーを押すと文字がどう変換されるか、実際に表示されますので画面の例文をよく見ていて下さい。

### (4) 半角に変換

カタカナやアルファベットに変換した全角の文字を半角にする場合は、**f・8** キーを押します。

**f・8** キーを押すと文字がどう変換されるか、実際に表示されますので画面の例文をよく見ていて下さい。

(5) **f・10** キーの役割

**f・10** キーは、入力モードの表示を切り換える場合に使用します。

**f・10** を押すと入力モードがどう変化するか、実際に表示されますので画面のキーボードをよく見ていて下さい。

(6) 入力練習

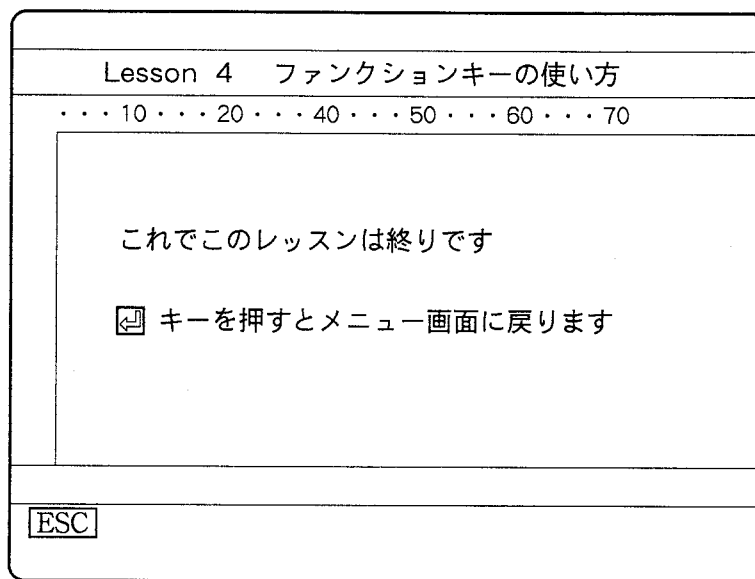
画面の例文に基づいて文字変換をし、入力の練習をします。

練習する例文は、次のとおりです。

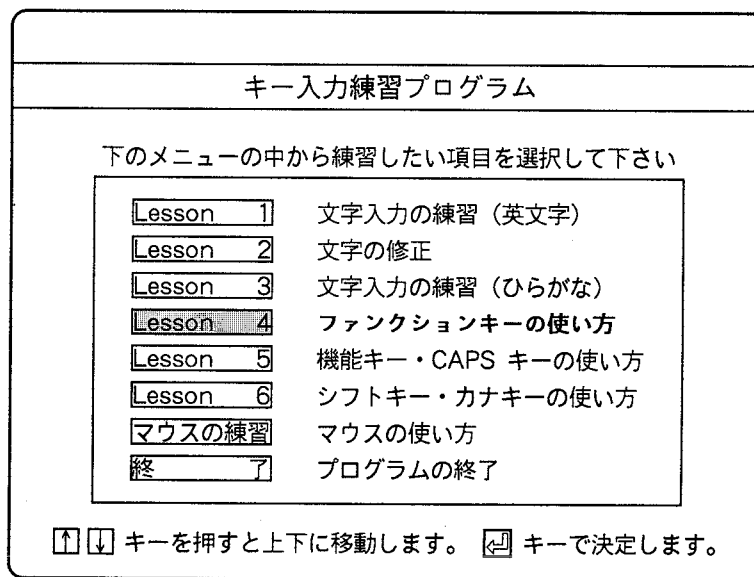
①	アイデア イベント コンサルタント ストライキ カレンダー スケジュール ライフサイクル 流通コスト ビジネス文書 部分的アレンジ ニュータウン分譲住宅 現地販売センター チェーン店募集
②	hakodate asahikawa obihiro muro ran wakkanai hurano nemuro yokohama kawasaki atugi yokosuka kamakura hatiouji タウンガイド モデル シーサイド インターチェンジ サービスエリア パキングエリア フロピディスク ハードディスク ディスプレイ キーボード
③	今アメリカでは、都市再開発の妙薬としてコンベンションセンターが各地でつぎつぎに設立されている。 コンベンションとは、大会や会議や展示会を意味するが、これを見直して総合システム化しようという試みが盛んになった。 これは、サービスの視点を総合的なものへと移そうというものである。

### 3. 終了

「Lesson 4」の練習が全て終了すると、次のような画面になります。



← キーを押すとメニュー画面に戻ります。



これで、「Lesson 4」は終了です。

